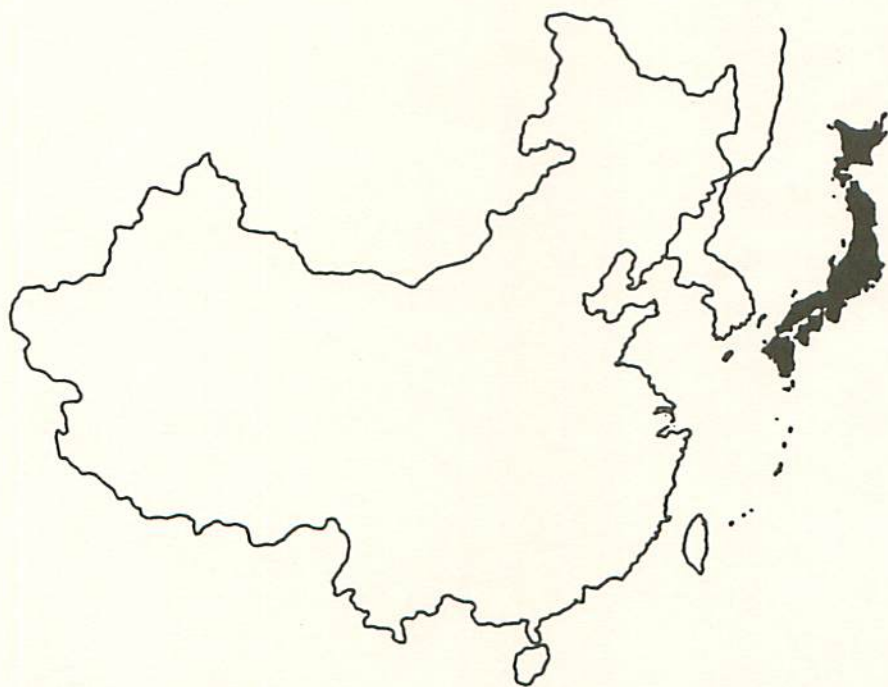


日本ビジネス中国語学会

会 報

第9号



第 9 回 総 会 開 催

公開講演会・会員シンポジウム（第 10 回）を同時開催

日本ビジネス中国語学会の第 9 回総会が、6 月 26 日（土）午後 2 時より、大阪市中央区の大阪商工会議所において開催され、熱心に審議を行いました。

総会は会則にもとづき伊地智善継会長が議長をつとめ、総会成立確認の後、藤本理事長より活動の報告、岩下事務局長より収支報告、待場会計監事より監査報告をそれぞれ行い、審議の結果いずれも承認されました。

続いて今年度の活動案、予算案提出と説明を行いそれぞれ承認されました。

総会の後に公開講演会・会員シンポジウムを開催し、阿部雅志先生が「近く出版予定の中国語ビジネス文書参考書についての構想など」の演題で、商社に勤めていた時、蒜苗を“ニンニクの芽”と訳したのが以外とヒット商品になったことなど、実務経験をもとに話された。奥田寛先生は「中国人のビジネス表現動作を中心に」の演題で、中国人の何気ない仕種のなかにどのような意味があるのか、日本人との生活習慣の違いなどについて話された。青野繁治先生は「インターネットと中国語」の演題で、日常生活に切り離せないほど普及したインターネットで、メールを発信する際の簡体字と繁体字のコードの違いから起こる文字化の対処方法や日中混在文の送受信をどうするか、などについて話された。

講演内容について参加者から質問や体験談が寄せられ熱心に質疑応答が行われました。（講演要旨は本号に掲載）

講演終了後は、会場を移し懇親会を催し親睦を深めました。

日本ビジネス中国語学会第 9 回定期総会議事録（要旨）

1999 年 6 月 26 日（土）大阪商工会議所会議室

- | | | | |
|----------|-------------------|---|----|
| 1. 14:00 | 議長選出 | 会則にもとづき伊地智善継会長が議長をつとめる。 | |
| 2. 総会成立 | 藤本理事長より報告。 | 4 月 1 日現在会員 59 の内、出席 11 名、委任状 30 名、合計 41 名。可半数で成立を確認。 | |
| 3. 報 告 | 活動報告（藤本亘）： | 資料にもとづき報告。 | 承認 |
| | 収支報告（岩下孝彦）： | 別紙の通り収支状況を報告。 | |
| | 監査報告（待場裕子）： | 正確に記帳されている事を認めます。 | 承認 |
| 4. 活動案提出 | 藤本理事長より資料にもとづき提案。 | | 承認 |
| 5. 予算案提出 | 藤本理事長より資料にもとづき提案。 | | 承認 |
| 6. 14:30 | 閉会 | | |

*総会成立会員数 **59** 名は 98 年度会費納付者の数で、会員名簿数とは差があります。

ビジネス中国語 実例報告

於大阪商工会議所 ビジネス中国語学会 '99. 6. 26 阿部雅志

1 この度藤本理事長より、目下執筆中のビジネス中国語に関する本について、ご紹介少々何か話をする様にとのご用命でありましたが、これは日本国際貿易促進協会事業部が会員サービスの一環として何か会員の役に立つことをしようとの発想で合併企業に赴任する人を対象に「総経理赴任前特訓講座」が企画された後、ビジネス中国語教室はどうか？と検討したのですが、これは結局本を出版したほうが良からうと言う事になり、創価大学教授鈴木先生、東海大学教授橋本先生、それから東海大学で非常勤をしている石垣さんと私の四名と、それに中国側にも日本側と同様、貿易実務のキャリアがあつて且つ大学の教壇にもたったことのある先生に参加してもらい、事務局の中田理事長、摂南大学教授の武吉先生が監修をして頂く体制をとっております。業界の役に立つビジネス中国語の本となりますと、差し当たり中国室のニーズに応えることであろうと言う事になり、橋本先生のご提案で、ビジネス中国語の文例辞典の様な物を作ろうかという事になり、今年の十月を目途に、目下作業中であります。出来ました暁には、何卒御叱正の程よろしくお願い致します。何分まだ作成中ではありますが、原稿を起こしながら、これはかなり困難な作業に取り組んだものだ、と、感じて居る次第です。

その理由は、中国の貿易形態が78年12月以降激変した事であり、当然使われる貿易用語も、商談の内容も変わって来ている事です。我々世代の経験は、解放後の社会主義建設を掲げる自力更生時代から、中断後の友好貿易による対外配慮時代とそれに重なった文化大革命の排外半鎖国の暗黒時代を過ぎ、Open doorの外資立国時代が到来しました。国は全く別の国に生まれ変わり、貿易はそれ以上に量・質共に大変化を遂げました。これ等の過去の時代の商談の幾つかを取り上げてふりかえってみたいと思います。

何れも可成り古い話になり、最近の商談とは趣も異なっておりますが、若し、私が現役であれば、このような席でお話する事もためらったであろうと思います。商社の仕事の内容は、原則として不特定多数の方々には話さないことになって居りま

すし、また古い話では、あまり商売の参考にはなりませんので聞いてくれる人も少ないかと思われませんが、あくまでビジネス中国語をどう表現するかという角度で、参考になれば或いは話題にでもなればと思っております。

2 1970年、丁度大阪万博の頃の広州交易会では、ようやく中国も冷凍野菜を試作し始め、60年代の着色グリーンピース缶詰が一時は爆発的に売れたり、くらげ、栗、冷凍兎肉が配慮物資の花形商品となり、更に新商品を生み出すべく、模索していたころでした。サンプルがあるわけでもなく、口頭の説明では、“凍蒜苗”。これは“又脆又嫩”であり、とにかくおいしい“餃子餡儿”にもするのだと言う。どうせ試験的に1トンか2トン買うのでと契約したのですが、本社に電報で知らせるのにハタと考えた結果、品名は「NINNIKUNOME」とした。すると本社から「LCには英語でどう表現するか？GARLIC SPROUTEでどうか」どっちみち見たこともない初めての野菜で税関でも特に文句をつける人もいないので、それで通してしまった次第です。その後になって、「にんにくの芽」はすっかり人気商品となり、糧油食品会社の先生との笑い話で、この誤訳のくだりを話題にした時、「その誤訳のおかげで売れるようになったのではないか。もし正確に「にんにくの茎」としていたら我々の商売はこんなに良くなっていなかった。と慰められたものでした。現在では考えられない、厚かましい、恥さらしであります。

私が現役の頃と言っても既に10年程以前の話になりますが、山東省の合弁の冷凍野菜工場では、当方の注文通りの里芋を可愛いクーニャン達が、一心不乱に皮剥きをしていました。壁には張三李四の名前が白墨で書かれ、その右側には、昨日の作業量、そして驚いたことにその日一日のお手当の金額迄が記入されていました。剥いた里芋は自分専用の金網の籠に入れられ、検査を受けて、若し僅かでも剥き方の悪い不合格品が混じっていたなら金網の一籠分は丸々不合格としてその日の作業量には計上されず、お手当も貰えない仕組みになっておりました。ですからクーニャン達も大変です。どんな偉い人が視察に来ようが、自分のお手当には関係無いわけですから。工場長は寸暇を惜しんで工場の現場を見回りながら、一方では畑の作物を見てまわり、工場の従業員だけでなく、農民に対しても、更に地元の市長に対しても大きな影響力を持っていて、誠に頼もしく感じたものでした。

3 1979年1月、丁度改革開放政策が打ち出され、何かと商談も活発に動いておりました。北京の昌平区の山村に栗の灌漑設備をつけたい。栗は降水量が少ないときは収穫が悪いので、スプリンクラーをつけて灌漑し増産できる。そうすれば栗で灌漑設備の代金を支払う、即ち補償貿易をやろうとの提案でありました。早速、久保田鉄工の技術で約40ヘクタールの山の中腹の栗林にスプリンクラーを取り付ける商談に入りました。このときの糧油公司北京分公司の科長さんは非常に友好的な商談を進めてくれました。

彼は、“阿部先生，这个报价是贵吗？”いきなり奇妙な質問をしてきました。

そこで私は“不知道，可是可以说这是十分合理的价格水平。反正今天晚上落实后，明天给你答复吧。”と答えておいて、ホテルに帰ってから久保田鉄工の代表と相談しました。「若しこれ以上値引きをされるなら、いっそ切符を買って帰国したほうがまだ。というレベルはいくらですか？」「今のオファーより10%値引きして、4,800万といったところですか。」「丁度栗で100トン分程度ですね。北京分公司で100トンの栗を出すことぐらいは、問題ないでしょうな。」

翌日の商談では“Y科长，我落实好了。现在，最后报价4,800万，和100吨栗子差不多。再便宜，他们久保田就买机票回国了。”

商談相手のY科長は、“好吧，不要买机票了。订合同吧。”

この補償貿易は極めてスムーズに契約出来たケースですが、通常は厳しい値引きで心身ともにすり減らす事が多かったのではないのでしょうか。

4 栗灌漑設備の商談場所は民族文化宮を急遽模様替えした商談場でこんな商談をしていた訳ですが、そこへ「北京市の偉い人から電話ですよ、至急新僑飯店の6階に来て下さいとのこと。」やがて、北京市糧油食品進出口分公司の副經理から北京市對外貿易局副処長に転じていた高愛民氏が出迎えに来て、新僑飯店に行ったところ、6階の応接室では、財貿弁公室の肖滌生副主任が第一商業局長、第二商業局長、第一服務局長、第二服務局長、外事弁公室処長を伴って、“在东京要开一个中国菜馆。房子是租的好，还是买的好？”いきなりこんなことを聞いてきました。

“我们想合资办餐厅。北京的各餐厅厨师都可以安排。食品材料我们可以供货，你们

東京丸一有經驗沒有問題吧。”この件は中華料理店だけではつまらないので、北京の第三次産業との間で、日中の初の合併を始める事なので、多目的にやろうと言う事になり、『京和株式会社』の誕生となりました。未だ中国では合併企業法も成立しておらず、日本で設立する事になりました。多目的な事業と言う事で、リースで北京の民族系のホテルにエアコン、テレビ、等を入れることが出来、駐在員も事務所も殆どがホテルに入っていたため、夏は涼しい思いが出来たのですが、部屋代が倍増してしまい、各社の駐在員には「丸一がいらん事をするから、おれ達の日当が残らなくなってしまった。」と恨まれたものでした。

5 保谷硝子の眼鏡レンズの連続熔融プラントを決めた時は、一週間程度の商談だったと記憶していますが、最后には会社の商談室を離れて、崇文門外の北京市玻璃総廠の会議室に移り、二日連続夜の12時頃まで、商談が続き、全くグロッキーな状態でした。いよいよメーカーにはこれ以上値引きの可能性がないことがハッキリしてくると、では今度は東京丸一だと言い出して、

“你的报价单交货期是五月份。现在保谷硝子厂方说十月份。我们生产开始晚了就发生损失，你应该负担弥补。”

もう商談は殆ど結末を迎えたと思っているところへ、こんなことをしかも夜中の12時頃の事です。終にたまりかねて、

“我们已经尽到最大努力的了。你们到底同意不同意！”テーブルをバーンと叩いてしまいました。その時商談を傍聴するだけで一切発言していなかった第一輕工業局の処長が、間髪を入れずに大きな声で“同意！”と叫びました。

“那还有什么要谈的？” “没有了。” “那可以签合同吧” “对了，可以的”

暫くたった何か月か後の事です、窓口の北京市機械会社の副經理が、宴会に同席した機会がありまして、“那天晚上你说得很好了。”と慰めてくれましたが、若気の至りで誠にマズイ商談の畳み方をしたものだと今では反省しています。

兎も角、こんな商談は、今や昔話で、おそらく今後はこんな会話は存在しなくなるのではないのでしょうか。

6 以上は丁度変化が始まった頃の商談ですが、ビジネス中国語も話題の内容が、様変わりして、

計画経済 → 市場経済

自力更生 → 外資立国

物不足経済 → 過剰経済

この20年間にあつと言う間にこのように変わってしまいました。

つい先日の事です、私に親しくしてくれる友人が、最近の中国人の言葉として紹介してくれました。

「中国は中国人の中国ですね。そして日本は日本人の日本ですね。しかし、アメリカはみんなのアメリカですよ。」中国人の意識は、已に十分国際化が進んでいるのでは無いでしょうか。

日中貿易約600億ドルの規模の内、約2/3 が投資先の合弁企業との間で往復する<日：日>貿易となっており、これからの中国は

利用外資 → 対外投資

に転じて行くのではないかと思います。そんな情勢になった時、果たしてビジネス中国語はどのように変化するのか、皆さんのご意見も伺いたいと思っております。

1999. 7. 31記

以上

中国人の「行動」を読み解く⁽¹⁾

—日本人の目から—

奥田 寛(姫路獨協大学)・黄志軍(大阪国際女子大学)

〇：はじめに

人間がお互いに意思疎通を図るためには「言語」が必要であり、それを通して相互理解が行われることは疑いのない事実である。しかし、ルイ・L・バードウイステルは「二者間の対話では、ことばによって伝えられるメッセージ(コミュニケーション内容)は、全体の35パーセントにすぎず、残りの65パーセントは、話しぶり、動作、ジェスチャー、相手との間のとり方など、ことば以外の手段によって伝えられる」と述べ、二者間の「コミュニケーション」において「言語行動」よりも「非言語行動」の比重の高いことを指摘した。⁽²⁾ また、J. V. ネウストブニーは、『外国人とのコミュニケーション』という著書の中で、日本人が「英語でコミュニケーションがはかれない」のは、英語の知識の問題だけではなく、英語でのコミュニケーション能力、特に「文法外のコミュニケーションの能力」欠如のためだと主張した。彼は、これまで「コミュニケーション」は、センテンスをつくる「文法」を唯一の道具とし、それ以外に「文化」という漠然としたカテゴリーしかなく、「文法外コミュニケーションルール」という考え方がなかったと言う。さらに続けて、彼は、人間が先ず「行動」を起こす場合、最初に「実質行動ルール」の知識が必要となる、と言う。「実質行動ルール」の知識とは、例えば、シドニーで日本人がタクシーを止めた際に、ドアを自分で開けるのかどうか、荷物をどこに置くのか、というような知識である。そして、次にタクシーに乗った際、運転手にどのような態度で接するのか、などという「文法外のコミュニケーション行動の知識」が必要となる。そして最後に依頼の表現を文法的にどう作るか、という「文法」の知識が必要になる。⁽³⁾ 彼が同書で強調したのは「文法外のコミュニケーション行動の知識」の重要性である。

いずれの立場も「コミュニケーション」を行うために必要とされる二大要素、「言語行動」(視覚的、聴覚的)と「非言語行動」(「身振り」、「表情」、「動作(行動)」等)のうち、後者が前者よりも、大切であることを強調している。ここで扱う「非言語行動」には、J. V. ネウストブニーが提起した「文法外のコミュニケーション行動」も含まれる。

中国語の「初級」のテキストを見ると、それらの殆どが「発音」、「文法」、「会話」、「簡単な読み物」から構成されている。確かに最初の「入門」「初級」の段階では「発音」が先ず習得すべき基本的、且つ重要な学習対象となる。その次に「文法」を学習し、その実践として「会話」や「読み物」を通して文法知識の定着をはかる。これらのテキストは、語学教育の主眼を「言語行動」(文法、語彙、発音)に置いている。これは、「中級」、「上級」レベルになっても状況はさして変わらない。しかし、例えば、ある中国人から、結婚式に招かれた場合、我々外国人は、すぐに1) 結婚式には、どのような服装で参加すべきか、2) 御祝いには、品物がいいか、現金がいいか。品物を送るとしたら、どんなものが喜ばれるか、もし現金であれば、幾ら出すのが適当か。3) 中国人の

結婚式でのスピーチで、言ってはいけない禁句には、どのようなものがあるのか、等わからない問題に直面する。しかも、これらの問題を解決してくれる参考書が現在迄のところ見当たらない。また、中国語教育の場でも、初級、中級、上級とレベルが上がっても、「日本人と中国人との実際的なコミュニケーション」の場で、何が問題となり、その答えは、どこに求めたらいいのか、ということが話題になってこなかった。このような状況にあるために、上に述べたような状況に放り込まれた途端、我々は途方にくれてしまうのである。これは、先程も触れたように、これまでの中国語教育が、当然必要なことではあるものの、「言語行動」を主として教授してきたからであり、また、我々日本人自身が「中国人との付き合い」において絶えず、これまで幾多の「文化的衝突」を繰り返してきながら、その都度それらを問題としてとらえ直し、改めてもう一度日本人の眼鏡を通して、彼ら中国人の「動作行動」が彼らの「客観的な世界の捉え方」の現れとして我々日本人と根本的にどう違うのかを意識的、積極的にあまり真剣に考えて来なかった、という点が反省すべきこととして見えてくる。日本人とは明らかに異なる中国人の生活、習慣、文化を背景とする「文化行動パターン」を理解することが、中国人と付き合う上で、我々がどのような行動を彼らに対して取るべきか、そのヒントを与えてくれる。それだけにこの問題は早急に解決しなければならない。筆者自身（奥田）、中国人と付き合う上でいつも「ここでどういう態度を取ればいいのか？」とか「ここではどう言えばいいのか？」というような場面に何十回、何百回ともなく出くわした。そのたびに、それでよかったのか、或いは悪かったのか、判断のつかないことが多々あった。これは、もはや「中国語」が話せるとか、聞いて分かるというような単純な「言語運用能力」の問題ではなく、彼ら中国人の生活、習慣に基づく「文法外のコミュニケーション行動」言い換えれば「文化行動パターン」を理解しているか、していないかという、いわゆる「非言語行動」理解の問題となる。これらの問題の答えがわかれば、間接的ではあるが、中国語のコミュニケーション能力向上にも結びつくと思われる。筆者（奥田）は、かつて「中国語教育の一側面―「非言語行動」理解の重要性―」（『教職課程研究＜第8集＞』姫路獨協大学教職課程研究室編）という論文の中で「日本人」が「中国人」と付き合う上で、具体的な場面で「どう行動すればいいのか？」、また「どう言えばいいのか」という問題67例を提出した。そして、その答えを中国人の視点から大阪国際女子大学助教授黄志軍先生に執筆をお願いした。本稿では、現在までのところ答えが用意されているもの、16例を紹介した。それは、我々日本人が、それぞれ具体的な場面で中国人に対してどのような行動を取れば、「コミュニケーション」がスムーズに進められるか、の一つの答えを中国人の視点で語られているからである。

1：日本人の目から

（1）私たち日本人は、よく「さあ、仕事をするぞ！」と言いながら腕まくりをしたり、このような身ぶりは中国人と一緒に仕事をする時は、出来るだけしない方がいいと聞きましたが、何故でしょうか？

这可能是小说中常有卷起袖子干仗、吵架等描写的原因吧。在生活场面也许也能见到人们在吵架时兴奋了会卷起袖子。但是，中国人在干活时也有卷袖子的习惯。所以，我们认为

没有必要太介意。当然第一次在一起干活，突然卷起袖子来会给人一种意外感。不过，一边说：“来，我们干活吧”一边卷袖子的话，就不会有什么误解了。

(2) 中国人に電話を掛けた場合、まず何を言えばいいのですか？自分の名前を先に告げてから、相手を確認するのですか？それとも、相手を先に確認してから自分を名乗るのでしょうか？

中国人接电话时一般只说“喂”而不说自己的姓名。所以你打电话时听到对方说“喂”后，无需告知对方你的姓名，可以直接了当地说“某某在吗？”或是“我找某某”“请某某听电话”等。要是对方问你的姓名，你再告知也不迟。

随着电话的普及，常有打错电话的。最近也经常能听到“喂，是某某家吗？”或是“某某公司吗？”等确认对方的说法。但总的来说，目前这种确认还是比较少数。

(3) 中国人の方に食事を招かれ、乾杯が終わるとどうすればいいのでしょうか？主人役がおかずを皿に入れてくれるまで待つのですか、それとも私の方から、主人役におかずを入れて感謝の気持ちを表すのでしょうか？

中国人在招待客人或是请客时都有给客人夹菜的习惯。这是中国人好客的一种表现。过去所谓有点教养的人有一种规矩，就是一般只夹自己面前碟，盘里的菜吃。不能伸长筷子去夹离自己较远的菜，更不能站起来去夹菜。这样你想吃的菜离你较远的话，只有等主人或者其他的客人为你夹了。当然这并不是说自己夹菜就不礼貌。而且，现在的年青人已经不再介意这样那样的规矩，比较随便了。

干完杯后，一般主人会说：“请吃吧”或者“请动筷”等话，所以不必等主人夹菜给你，可以自己夹菜吃。在餐席上，一般还有请长辈或客人先动筷的习惯。

至于给主人夹菜表示一种谢意，没有什么不可。中国有一句话叫“反客为主”，也就是说客人反过来为主人夹菜盛汤。但是，如果你和主人还不太熟习或者是第一次应邀，最好还是尽量少给主人夹菜，有一、两次表示一下感谢就可以了。

最后说一句，在正式的场面或是比较重要的宴会上，还是遵守一些老规矩好。不然就会显得没有教养，不懂礼貌。

(4) 中国人と一緒に食事をする時、席の順番はどのように決めればいいでしょうか。また、乾杯の挨拶は、誰にお願いすればいいでしょうか？

按中国传统的习惯是坐北朝南为上座。圆桌时主位居中，方桌则上面两位。所以，一般可以请主宾坐上座。但是，现在很多餐厅或宴会厅的正门并不一定是朝南开的，甚至有时一进餐厅就根本分不清东南西北。像这种场合可以安排主宾面朝正门就座。

致酒词一般应该是由主人一方负责。而且中国客人发言讲话的最后都会有致酒的话。要是请一个人单独致酒词的话，最好请最年长的或者是地位最高的人。

除非是正式的酒宴，一般只是请客什么的不需要将就那么多的规矩。如果是在日本请客，完全可以按日本方式安排，“入乡随俗”嘛。

(4) 中国人と一緒に食事をした場合、勘定は、どうすればいいのでしょうか？どういう場

合に「割り勘」が出来ますか教えてください？そもそも、中国人には「割り勘」という考え方があるのでしょうか？

中国人一起外出吃饭时，总会有一个人付钱而不搞平摊。有时甚至会有几个人争着付钱。所以，除非事先你说好由你请客，或是由你提出外出吃饭并形成了一种由你付钱的气氛以外，因为你是外国人，所以在中国你和中国朋友一起外出吃饭一般是不会让你付钱的。

要是日本，如果你的中国朋友还不知道日本有“割り勘”的习惯的话，很可能他会以为是由你来付钱的。在中国这叫“尽地主之情”。

可以说中国很少有“割り勘”。特别是外出上饭店吃饭更少有“割り勘”。这并不是说中文里没有这种说法。以前就有“自己付自己的”“平摊”等说法。最近，如上海话的“劈柴”、新词汇的“AA制”都是表示“割り勘”的意思的。中国人感到每次吃完饭，把每个人的账算得清清楚楚，斤斤计较就显得太小气，活得不潇洒。这可能和中国人不常外出吃饭有一定的关系。要是像日本那样，公司职员几乎每顿午饭都在外面饭店里吃，晚上又常一起在外面喝酒的话，中国人也会平摊付钱的。要不然，就是再有钱也会承担不起的。

(6) 中国人の友人の結婚式に招かれましたが、現金を包むのがいいのか、品物がよいのか？現金の場合、幾ら出すのが適当ですか？また、品物であれば、どんな物が喜ばれますか？

过去在中国有亲朋好友结婚一般都以送礼物表示祝贺。最常送的有床单、被罩、暖瓶、枕头等日用品。也有送花瓶等装饰品的。如果是送礼物的话，一定要送双不能送单。这表示双双对对，和谐到老。另外你可以送手表但千万不能送钟，因为在汉语里送钟和“送终”同音，显得不吉利。

最近，随着经济发展和国外文化的影响，年青人之间送钱的人似乎要比送东西的多一些。至于送多少钱要看你和新郎或新娘的关系如何。如果是一般的朋友关系，可以送五百到一千元。当然，这个数额是就沿海地区或大城市而言的。地方城市、较小的城市的话，送上二、三百也不算太小气吧。因为是喜事，钱应该用大红纸包上。当然也可以用日本的“ご祝儀袋”包上，这样会使人感到一种异国情趣。

(7) ある日本人留学生が友達の中国人の結婚式に出席出来なかったので「お祝い」を送りました。しかし、いくら日にちが過ぎても結婚の「お返し」が来なかったそうです。ひょっとすると中国には、そのような習慣がないのでしょうか？

这可能是他不知道中国没有“お返し”的习惯吧。经常还听有些日本朋友对我埋怨说：“中国人不懂礼节，给中国人送礼或寄信后总不见有回信或来电话表示感谢。”这可能也是和没有“お返し”有一定的关系吧。

在中国如果收到了别人送的礼物马上还礼就会给人一种误解；好像是不愿意接受人家的礼物；怕欠人家的债。当然这并不是说中国人拿了别人的礼物不知感谢。中国有句老话叫“有来有往，有来无往非礼也。”也就是说得到了人家的好处，一定要同样的报答。只是我们不是马上回报而是将你的好意记在心上，待你有什么喜事该庆贺，或有什么难处需要帮助时再以物品、行动或是别的形式来“还礼”。

顺便说一句，日本“お返し”的习惯有时对中国人来说会感到很别扭。

(8) 初対面の中国人にこちらから積極的に握手を求めるのは非礼になりませんか？特に、相手が女性の場合、どうすればいいのでしょうか？

您和一个中国人第一次见面时，由您主动地伸出手来和对方握手、当然不会有失礼貌。中国人之间一般第一次见面时，也是很自然地以握手表示问候。

至于当您是男性而对方是女性时、是否也可以主动征求握手。据说在西方一般男性是不可以主动要求和女性握手的。您的这个问题可能和西方的这种习惯有关吧。我个人以为您与中国人打交道时、主动要求和女性握手这也没有什么不可以的。中国的女性一般是不会计较是谁先伸出手的。但是、随着中国的改革开放、很多西方的生活方式和文化意识伴随着工业技术和经济管理方式一起传到中国。所以，也许现代的女性也会要求男士们以西方之礼对待她们。如果您是第一次跟中国女性接触的话、最好还是慎重些。

我常看见有的日本人、在握手的同时还点头哈腰的。这就没有什么必要了。

(9) 急に用事を思い出しました。電話をかけようと思いますが、家に掛けて失礼になりませんか？また、掛ける場合、夜、何時までに掛けるといいのでしょうか？中国の方は早寝と聞いておりますが。

随着这几年电话的普及，有什么急事儿给对方家里打个电话，这在中国已经很普通了。所以完全不用顾虑。的确，尽管夜生活的习惯正在进入中国的城市，但除了年轻人以外、大多数的中国人还是睡得比较早。要是您和对方很熟习，知道对方的生活习惯，晚上稍许晚一点打电话也没有什么问题。但是一般来说，还是尽量不要太晚，尽可能在十点以前打。

(10) 今度、北京から上海まで長距離列車に乘ります。十五、六時間かかるようですが、コンパートメントに中国の方が乗り合わせたら、「何」を話題として話せば会話が弾むでしょうか？

我来日本以后有时也有机会坐新干线出远门，可是在车上发现日本人互不相识的话、都“互不干扰”，很少有人主动和你搭话的、而是各自看书、杂志或者就是睡觉，实在令人不解。中国有句话叫：“在家靠父母，在外靠朋友”。坐长途列车出远门，有时要在车上一同度过几天，所以同车的旅客就是朋友。上车后一坐稳，同座或是对面的乘客之间就会互道姓名、前往目的地等。旅途中各自就自己的兴趣或是所关心的问题等，可以说是无所不谈。这样不仅可以互相了解也可以增加旅途的情趣。而更重要的是，在旅途中如有什么困难、问题可以互相帮助。

看来您完全不用担心，即使您想按日本方式行事来个“互不干扰”，可能也很难成功。当然，因为您是日本人，同座或是同车厢的乘客会对日本的经济、文化和生活习惯等更感兴趣。您呢，可以就来中国后的所见所闻谈谈您自己的感想和体会。这样还可以促进相互间的了解，这也是一种国际交流嘛。另外，您要是有什么困难或有什么想了解的问题也可直率地提出来，相信车上的中国人会热情地帮助您的。

最后想提醒一句，不要轻率地告诉对方自己的家庭住址和电话号码。因为“害人之心不可有，防人之心不可无”嘛。

(11) 中国の方を家に招待するつもりですが、どういう食事を用意すればいいのでしょうか？「すき焼き」は、一つの鍋をみんなでつつくことになりますが、嫌がられませんか？

大家知道，现在吃中餐一般是不分餐的。特别是一般家庭里都是把菜放在桌子各自用自己的筷子夹菜。所以您用“すきやき(素烧鸡)”招待中国客人，同吃“一锅菜”一般不会使您的客人感到不愉快的。有时反而会给人一种亲近感。

(12) 中国の人は、相手の給料や家族のことを率直にたずねるようです。それは、相手に親しみを感じているからと聞きましたが、本当のことなのですか？

经常有日本人问我、为什么中国人很轻易地问及他们的工资收入。的确，在日本个人的收入完全属于私人问题，一般是不会相互打听的。所以，被中国人问起就会感到很尴尬，不知道是如实回答为好，还是避而不谈为佳。

但是，中国人之间时常会问及对方收入有多少，家里都有什么人。或许正如您说的，这是一种表示对对方的关心或者表示一种亲近感，但可能只是为了找话题。我个人认为，这里可能还有另外的原因。众所周知中国自解放以来，长期实行的是全国公有制或全民制。因此，同年龄、同地区、同工种的人除了各单位的奖金有所不同以外，基本工资是没有多大差距的。相互之间彼此彼此，问的人和被问的人都不会感到有什么抵触。至于打听对方的家庭情况，比如父母是干什么的、都有几个兄弟、他们都在干啥等，则是出于一种亲近感。可以从中找出相互相同或不同之处，以此为话题沟通感情。

随着改革开放的进展，中国的所有制也发生了很大的变化，出现了很多个人企业家或是在外资企业任要职的中国人。还出现了一些高收入的阶层，像律师，高级工程师等。而这些人收入和一般“上班族”相比，差距就很大。所以，这些人也就不太愿意有人问及他们的收入，以免引起不必要的“误会”。

如果有人问您的收入，大概是出于上面所说的中国人长期以来的一种习惯，而大多数则可能是出于对日本人收入的好奇心。要是您不愿意回答，完全可以不回答。这并不会在彼此之间造成什么隔阂。

(13) 中国人の身ぶりの中で「相手の鼻に指をさす」という行為が小説の中で相手を批判する時、よく見られますが、中国の方は、自分の鼻を指でさされますとやはり不愉快に感じますか？

在中国用动作表示“我”的时候、有用手指指自己的鼻子的、也有用手掌拍自己的胸部的。甚至有人为了显示自己了不起、用大拇指指自己的鼻子的。但是，在指对方时、就不能用手指指对方的鼻子。用手指指对方的鼻子、不光是表示批评、有时甚至是表示指责、训斥、辱骂等。不管您是哪国人、如果您指着人家的鼻子说话、中国人都会感到很不愉快的。

您注意看小说的话、一定会看到“指着鼻子骂人。”“你别指我的鼻子好吗？”或者是“他的手指都快碰到我的鼻子了。”等表现、这些表现都是贬义的。

(14) 一度、中国の方を「銭湯」に誘いましたが、断られました。中国の方は、人前で裸になるのに抵抗があるのでしょうか？私には、中国の駅のトイレでよく衝立やドアの無いところで用をたして平気な中国人の方が理解出来ません。お教え下さい。

这要看这个人是在哪儿出身的、和他的性别。在中国、特别是城镇居民也常去公共浴池「銭湯」洗澡。而且，大多数的澡堂也和日本一样，大家都在一个大池子里洗澡。所以，可以说大多数的

中国人、特别是城市出生的人对日本的「銭湯」是不会有什麼抵触的。

但是,如是女性那就不同了。因为,中国的澡堂男女是完全分开的,没有类似日本的「番台」!再说,女性的澡堂一般是单间的盆浴或淋浴。所以,特别是女孩子就不太适应日本的那种大池子式的洗澡方式,哪怕是同性也不愿在别人面前裸露自己的身体。更不用说有一个男性的「番台」高高在座了。

至于中国的公厕,没有隔门令人难堪是常有日本人抱怨的。我们以为,这是一种文化和习惯的问题。也就是说当你从小就习惯于某一种文化时,就会习以为常,不会对这种文化产生疑问或抵触。就这一点说的话,也许同样是日本人,但上年龄的人可能就要比年青人的抵触要来得小一点儿。

当然,文化也不是一成不变的。文化习惯会随着经济发展和文明意识的转变而发生变化。随着中国经济的发展,现在很多大城市的公共厕所已经发生了很大的变化。想必下一代的年轻人也会对那些没有隔门的厕所感到不适应吧。

(15) ある中国の本に一对一で異性同士が写真を撮るのはやめた方がいいと書いてありました。何故でしょうか?

这本书写的很对。特别是女孩子一定要注意。因为、一般来说、除了恋人以外、男女之间是不会单独在一起照相的。如果一男一女单独在一起照相,就表示这两人是恋人,最起码表示相互之间有相好的意思。

当然,最近的年青人由于受到西方文化的影响,也有不拘旧习男女在一起照相的。所以也可以视情况而定。

(16) 中国でタクシーに乗った時、料金が五十三元三角でした。五十四元渡し、お釣りの七角を貰って降りました。ホテルに戻ってから、七角ぐらいは、チップとして運転手にあげるべきだったのではないかと気になりました。どうすればよかったのでしょうか?

的确,现在有很多中国人尽管对小费的意识还不太强,但在坐出租汽车时,如找钱在一元以下一般就会作为小费给司机。倒过来说,有时如果您在付钱时发现零钱不够,又只有大票,而出租的驾驶员也找不出零钱。这时司机会说“算了,不要了。”

2: おわりに

1: で取り上げた「問題」は、恐らく日本人が、中国人との「個人的なつき合い」や「ビジネス」の中で出会うであろうと予想されるもの(また、一部は筆者の奥田が実際に体験したものが含まれている)である。しかも、これらの答えは、日本人から見た、中国人との付き合いの上で役に立つものである。異なった「文化」背景で生まれ育った者同士が、コミュニケーションを図る際、発生するであろう「誤解」や「理解不足」は、実用的な「言語」の技術的な巧拙の問題だけではなく、お互いに、相手の「動作行動」に対して間違った「読み取り」(解釈)をすることからもたらされる。今回の問題提出は、「日本人」から「中国人」を見る、単一方向的なアプローチである。しかし、「相互理解」の点から見れば、「中国人」の側からも、彼らの目を通して、日本人の日常生活に見られる「動作行動」に対して、「不可解な」点が提出されなければ、意味がない。この問題は「日・

中両国人の動作行動パターンの双方向的理解」にまで範囲を広める必要がある。中国人の立場で見た日本人の「動作行動」について一例を挙げると、共同執筆者の黄志軍先生が始めて日本に来た時、「日本人男性が、食事の後、お腹がいっぱいになったといってズボンのベルトを緩めている光景」を見てびっくりしたという。中国人から見ると日本人のこの男性の「動作行動」は「卑猥」に映るのだそうである。日本人が、この「動作」の「共示義」（文化的意味）を中国社会の「コード」で理解していれば、「中国人」の前でこのような「動作」をして中国人に不快感を与えることはないだろう。冒頭に紹介した J. V. ネウストブニーは、前掲同書で次のように述べている。

「外国人のコミュニケーション問題は、もっぱらこの文法外のルール、たとえば、ネットワークをどう形成するか、話題をどう扱うか、どう笑うか、を決めるルールの方におくことができる。文法・語彙・発音などの能力はもちろん軽視してはならない。しかし、外国人の典型的な問題は、言いたいことが誤解されるよりも、自分のパーソナリティや意図について適切にコミュニケーションできないことである。これらのことは、文法能力だけの問題ではない。」（同書、p.189）

日本人が、「中国社会」に身を置いた場合、中国人が「日本人社会」に身を置いた場合、お互いが如何にうまく「つき合い」を行なっていくか、非常に切実かつ重要な問題である。このテーマは「外国語教育」の中でも避けては通れない。日本の中国語教育の中でもっとこのことが話題とされ、中国人の理解に繋がればと願う。本稿では、本来 67 ある「問い」のうち 16 の「答え」が提示できたが、近い将来、残りの 51 の「答え」と一緒にして一つにまとめる予定である。

（1998年6月27日）

注

- (1) 本稿は、筆者（奥田）がかつて発表した「中国語教育の一側面―「非言語行動」の理解」（『教職課程研究＜第8集＞』姫路獨協大学教職課程研究室編、p.67～p.79）という論文をもとに黄志軍氏の執筆部分を新たに書き加え、大幅に修正してなったものである。内容的には、前者の論文とは別のものであり、よって、本稿は、奥田・黄の共著論文である。また、本稿は、1999年6月26日、大阪商工会議所で開かれた「日本ビジネス中国語学会第10回公開講演会」において「中国人のビジネス 表現―動作を中心に」という題で報告（報告者、奥田 寛）を行った際、資料として提出されたものである。今回、本学会において報告の機会を与えて下さり、また、本学会「会報」（第9号）に本稿を掲載するために労をお取りくださった、同学会理事長藤本 恒先生には、心より御礼を申し上げる次第である。
- (2) マジョリ、F. ヴァーガス（1988）p.15。
- (3) J. V. ネウストブニー（1984）。P.40～p.42。

参考文献

- J. V. ネウストブニー（1984）『外国人とのコミュニケーション』岩波新書、岩波書店。
マジョリ、F. ヴァーガス（1988）『非言語コミュニケーション』新潮社。
奥田 寛（1997）『中国人の非言語コミュニケーション』東方書店。
――（1998）「中国語教育の一側面―「非言語行動」の理解」『教職課程研究＜第8集＞』姫路獨協大学教職課程研究室編、p.67～p.79

コンピュータと中国語

青野 繁治

「コンピュータないしインターネットとビジネス中国語」という題でお話をせよ、ということでしたが、どのような話をすればいいのか、よくわかりませんし、皆さんの興味も多岐にわたっていると、思われますので、大まかな概略をお話しして、皆さんの興味に対応したヒントになれば、幸いです。

なおこれからするお話は、『電腦中国学』（好文出版 1998. 11. 3）や『コンピュータで中国語 Win & Mac』（大修館 1999. 5. 10）に詳しい解説がある話ばかりですが、やや私自身の体験にひきつけてお話することになるでしょう。

① オペレーション・システムと中国語

ご存知のようにコンピュータは、それを動かすための基本的なプログラムがなければ、使用することができません。MS-DOS, WINDOWS, UNIX, MAC-OS というのが、それに当たります。これをオペレーション・システム（略してOS）といいます。今ではもう MS-DOS を使う人は少なくなり、WINDOWS や MAC-OS を使う人が多くなりました。ネットワークでは、UNIX や WINDOWS NT が主流です。

日常私達が家庭や会社で WINDOWS 系のコンピュータを使う場合、普通は日本語版の WINDOWS98 を使っていると思います。この日本語 WINDOWS98 で中国語の文章を入力したりするには、これとは別に中国語の入力をするためのソフトウェアを買ってインストールしなければなりません。マッキントッシュでも、Chinese Language Kit を入れなければ、中国語の簡体字を表示することはできませんし、「ボボモフォ」というのを入れなければ、中国語を入力することができません。

日本語 WINDOWS98 では、そのままでは中国語の入力が出来ないかわりに、最初から日本語が入力できるようになっています。それと同じように、中文 WINDOWS98（簡体字版と繁体字版があります）では、日本語は入力できませんが、中国語は最初から入力できるようになっています。画面に出てくる文字は基本的に中国語になります。

現在コンピュータで必要とされる中国語に関する問題は、ほとんど日本語 WINDOWS で解決できるのですが、中国や台湾で開発されたソフトウェアや『漢語大詞典 CD-ROM』などの電子辞書、『人民大学復印報刊資料 CD-ROM』などのデータベースを利用するとき、中文 WINDOWS でないと動作しないものがありますから、そのようなソフトウェアを利用する人にとっては、中文 WINDOWS は必要不可欠ものものです。

けれども、一台のコンピュータに対して、普通は一つのOSしか使えません。SYSTEM

COMMANDER というソフトウェアを使って、一つのハードディスクをパーティションに区切って、二つ以上のOSを共存させ、起動の時に切り替える、という方法がありますが、かなりコンピュータを熟知している人でないと、操作を間違えて、データを総て無くしてしまう、という失敗をした人もいます。ですから、中文 WINDOWS を使う環境を作るには、もう一台中文専用のコンピュータがあるのが理想的でした。確かに大事なデータを守ることを考えれば、それくらいの投資はしかるべきものかも知れません。

ただ富士通αΩという会社が出している Winux という道具を使うと、三つまでハードディスクをつないで、スイッチボタンの切り替えだけで、それぞれのハードディスクから別々にOSを起動できます。それまでは、OSを切り替えるのに、複数のハードディスクをパソコンの中に入れておいて、切り替えるときには、パソコンのふたをあけて、ハードディスクの線をつなぎかえるという面倒なやり方をしていました。これも危険なやりかたですが、パーティションをきる方法だと、ハードディスクが一つ壊れれば、データはすべて消えてしまいましたが、複数のハードディスクを切り替える方法だと、ハードディスクが一つだめになっても、別のハードディスクのデータは消えないで残っています。Winux を使えばスイッチ・ボタンを押すだけで複数のハードディスクの切り替えが済むようになったわけです。これで日本語と簡体字中国語、繁体字中国語など3種類のOSを一台のパソコンで切り替えて使えるようになりました。もちろんそれぞれのOSを入手し、きちんとインストールできるだけの知識は必要なのですが。

② 中国語ワープロ

中国語ワープロというのは、ワード、一太郎など日本語ワープロ上で中国語を打てるようにしたもの、中国語専用ワープロに中国語を入力するようにしたものなどがあります。

前者は次のようなものが代表的です。それぞれのホームページのアドレスを付けますので参照してください。

「Chinese Writer」高電社 <http://www1.meshnet.or.jp/KODENSHA/jis/>

「CWnn98」オムロンソフトウェア

<http://www.omronsoft.co.jp/SP/>

「中文起稿」東京コンピュータサービス・富士通ミドルウェア

<http://www.tokyo-computer.co.jp/products/index.html>

「かんぺき電腦! Ver.3」サンセール <http://www.majic.ne.jp/sunsale/kan3top.htm>

「卓絶 IME」東経電算 <http://www.e-shop.co.jp/toukei/tcc/products/takuzetu/>

これらは中国語を入力 (Input) する方法を提供するものなので、Input Method Editor 略して IME と呼ばれます。それに対し、中国語を入力する画面と入力法の両方を提供するものもあり、厳密にはこちらが中国語ワープロであるのですが、それには、

「NihaoWin」 クリエイト大阪 <http://www.kita-osaka.co.jp/create/>

「南極星」 <http://www.bekkoame.ne.jp/~leading/njstar.htm>

があります。「南極星」はオーストラリア在住の中国人が開発したソフトウェアで、ネットワーク上で入手できますが、ワープロとして満足できる字を印刷できるようにするには、いくらかの料金を支払ってユーザーにならなければなりません。日本語の入力はできませんが、簡体字、繁体字の中国語をピンインで入力できます。ただし簡・繁混在文にはしないほうが無難でしょう。

やや特殊なのは、次の二つです。

「日中之星」 http://www.academysoft.co.jp/pg_jcstar/pg1_jcstar/jc0_concept.html

「Roboword」 テクノクラフト <http://www.technocraft.co.jp/product/robo/index.html>

「日中之星」は「中文之星」の日本語版で、日本語 WINDOWS の日本語を表示している部分をシステムごと中国語に切り替えて、中国語の入力を可能にするというもの。「ロボワード」は、中国語のページの中国語の単語をクリックすると日本語の訳を表示するというインターネット上の翻訳をメインとするソフトですが、これに「ロボタイプ」という中国語の IME ソフトが別売でついています。

ところで上の Chinese Writer から Nihao Win までのソフトウェアを使っていると、いくつかの問題に気がつきます。日本語 WINDOWS 上で、これらのソフトは、英語、簡体字中国語、繁体字中国語、ピンイン符号、日本語の漢字と仮名など、様々な文字を一つの文章の中で混在させて用いることができるようになっています。しかし開発の段階で、大陸の国家標準文字コードである GB コードを標準にしたため、これをそのまま繁体字に切り替えても、一部の文字が正しい繁体字にならなかったり、違う文字に化けたりするという問題が起きました。例えば、「植物」を Chinese Writer で簡体字入力すると、「植物」となりますが、これを Chinese Writer の繁体字フォントに切り替えても、文字は「植物」のままできちんと「植」という字が表示されません。また「頭髮」は簡体字入力すると「头发」ですが、これを繁体字フォントに指定すると、「頭發」となってしまいます。これでは困りますね。こういった状況は中文起稿でも NihaoWin でも変わりありません。ちなみに日本語フォントを指定すると、それぞれ「植物」「头发」は「峴麗」「遊窟」に化けてしまいます。

何故このようなことが起きるのでしょうか。その原因は文字コードの不統一にあります。文字コードとは、要するにコンピュータで文字を呼び出す際に、何番のところに何という文字を登録しておくか、という決まりで、日本語の場合は JIS, Shift-JIS, EUC の三種類です。パソコンの WINDOWS や MS-DOS、MAC-OS では Shift-JIS、ネットワークに用いる OS

である UNIX では、JIS または EUC が用いられています。ですから、同じ日本語でも UNIX で作成した文書は、そのままではパソコンで正しく読み出すことができません。

同じように中国語でも、大陸の簡体字は GB コードに従ったものですし、台湾の繁体字は BIG5 コードに従ったものですから、簡体字中文 WINDOWS で作成した文書は、繁体字中文 WINDOWS では読めないのです。読もうとすると文字化けがおきます。BIG5 の繁体字中文 WINDOWS では別々の番地に登録されている「發」と「髮」は、GB の簡体字 WINDOWS では、「发」に統一されて同じ番地に登録されています。そしてそれは日本語 Shift-JIS の「窟」の字と同一番地なのです。

日本語 WINDOWS では、このような問題を解決して日中混在文を実現するために、文字毎にフォントを指定するという方法を用います。それはワードや一太郎などの日本語ワープロソフトが文字単位でフォント指定できる機能を利用しています。ですから、日中混在文を入力して、印刷するというレベルでは、現在ほとんど問題は解決されていると言えます。しかし、そこには落とし穴があって、フォントの指定はワープロの機能に含まれるわけですから、違うワープロになったら無効になる、ということです。別の言い方をすれば、一太郎で作った混在文は、ワードでは上手く読めない場合があります、Chinese Writer で作った文書をそのまま、CWnn98 や中文起稿、完璧電腦などで中国語を入力する環境をもったコンピュータで読み出すと、文字化けを避けられないということです。

当然インターネットのブラウジングやホームページ作成、E-Mail のやり取りにおいても同様の問題が出てきます。

それを解決する一つの方策として考えられたのが、統一規格すなわちユニコード (Unicode) になります。これは、世界中の様々な文字を一つの統一された文字コード表の上に割り当てたもので、色々な問題点も指摘されていますが、当面の混在文作成とデータ通信には大きく貢献するものと考えられます。これについては後でインターネットのところでお話します。

③ 中国語ツール

さて私が日ごろ利用している中国語ツールがいくつかあります。中国語の入力の面では、キーボードからピンインで入力する以外にも、いろいろな入力の方法が出てきました。一つは、中国語OCRです。

OCRはすでに本などの活字になっているものを、イメージスキャナで画像として読みこんで、それを文字テキストに変換するソフトウェアで、文字の形態を分析して、その文字が登録されている文字コードを呼び出します。これを用いると文字入力が自動化されるので、労力としては楽になります。問題は文字をどれくらい正しく認識できるか、という認識率です。

現在中国語のOCRは日本で数種類発売されています。簡体字中文 WINDOWS 用の「清華

OCR」を日本語 WINDOWS 用に移植した「清華 OCR ライト」というのをクリエイイト大阪が出して、いますし、「中文起稿」も「ScanBox 中文 OCR」を含んだパッケージが発売されています。高電社も OCR を売り出しました。ほかに日本のものではありませんが、繁体字中文 WINDOWS 用の「丹青 OCR」も認識率の高さで定評があります。

しかしこれも認識した文字のチェックに手間がかかるという問題があり、イメージスキャナという機械を別に買って、パソコンに接続しなければなりません。

そこで音声として読み上げてそれを文字として認識させる、という入力方法が新たに登場しました。中文 WINDOWS 用で、日本語 WINDOWS では動作しませんが、「漢王 聴写輸入系統」というのが北京中自漢王科技公司から発売されています。まだ試していませんが、認識率によっては大変便利なものであると思います。

またパソコンの画面で中国語に限らず文字を読むのは目によくありません。それで中国語の文書を読む必要があるが、印刷するほどでないとき、或いは紙を節約したいときなどには、中国語を読み上げてくれるソフトがあると便利です。

それが NihaoWin の QH サーバーで、これは Nihao のワープロ画面に表示されている中国語の文書を範囲指定して、読み上げボタンを押すと、男性または女性の声で中国語を読み上げてくれます。もちろん機械的な読みかたですが、声調は結構正確に読んでくれます。

④電子辞書

辞典類の電子化はずいぶん進みました。「広辞苑」のような国語辞典をはじめ、英和・和英辞典、百科辞典の類もずいぶん出ていますし、図鑑類も分野毎に出ています。中国語関係では、やはり「小学館中日・日中辞典」CD-ROM 版の発売が大きいでしょう。電子ブック版と比べるとやや動作が遅いようですが、小型のノートパソコンに入れて持ち歩けば、分厚い辞書を二冊持ち歩くよりも便利です。あと中文 WINDOWS でなければ使えませんが、「漢語大詞典 光盤 1.0 版」商務印書館（香港）有限公司があります。これは見きり発売らしくて、例文などが削られているので、まだまだ改善の余地がありますし、日本語 WINDOWS への移植が待たれます。

⑤インターネット

インターネットで中国語に関してどのようなことができるか、といいいますと、まずデータ検索＝情報収集、情報発信、E-MAIL が考えられます。

データ検索の代表は、ホームページブラウジングつまりホームページに接続して、表示される内容を閲覧することです。

中国語のホームページを閲覧するには、先ずプロバイダなどを通じてインターネットに加入しなければなりません、その手続きについては省かせていただきます。Internet

Explorer や Netscape Communicator のようなブラウザが必要になりますが、最近ではコンピュータを購入するとすでに、Internet Explorer がセッティングされていることが多いようです。インターネットへプロバイダへの加入も、自動的にできるようになっている場合が多くなりました。後はブラウザを動かして接続すればよいのですが、それだけでは、中国語を読み出したり、書きこんだりすることができません。

そこで Microsoft の提供する Multilanguage Font (中国語簡体字&繁体字=MS-SONG, MS-HEI, MingLiU) をマイクロソフト社のホームページにある Internet Explorer のダウンロード・ページから入手します。

私のホームページ (<http://aonoken.osaka-gaidai.ac.jp/~aono/aono.html>) にある「中国語表示実験」ページを Internet Explorer で開いて、「愚公移山」を三種類の文字で表示するようにしてあるところをみて下さい。もしあなたの Internet Explorer が中国語を読み出せるように設定されていなければ、画面に自動的にそれを読めるようにするかどうか、問い合わせのメッセージが出ます。それに従って手続きをすると、中国語を読み出せるようになるまでの設定を自動的にやってくれます。

これで中国語は簡体字も繁体字も読み出せるようになりました。では必要な中国語の情報をどのようにして探せばいいでしょうか。

インターネット上には様々なデータを探するための検索ページがあります。中国語関係で代表的なものと言えば、中国語版の Yahoo すなわち

- ※ 「雅虎中文」 <http://gbchinese.yahoo.com/>
- ※ 「雅虎台湾」 <http://tw.yahoo.com/>
- ※ 「雅虎香港」 <http://hk.yahoo.com/>

です。ブラウザから上記のページを開けば、様々な情報が分類された形でリストアップされています。あとはそこからあなたの必要なものを見つけ出して開いていけばいいのです。しかしいろいろ探すのが面倒な場合や目的のデータが何かわかっている場合には、検索用の窓に目的の単語を打ち込んで、探させることも可能です。しかしその場合、GB または BIG5 の文字コードで入力することのできる IME が必要になります。Chinese Writer や Cwnn の新しいバージョンは、これに対応して直接入力できるようになっていますが、古いバージョンのものでは、それができるようになっていません。

そういう場合、新しいバージョンにアップグレードするという手もありますが、もうひとつはマイクロソフト社のホームページから Global IME 簡体字および繁体字をダウンロードして、インストールするという方法があります。これは基本的に無料なので、是非お試し下さい。ただし Global IME は Internet Explorer と Outlook Express というマイクロソフト社製品にしか対応していないので、Netscape Communicator では使用できません。また繁体字は「注音字母」を画面上のキーボードをマウスでクリックして入力するように

なっています。そのためピンインで中国語を習っている若い人には使いにくいかも知れません。注音字母でならった年配の方や台湾に留学された方には、それほど苦にならないはずです。画面キーボードがなじめない人には、香港や台湾に行くと注音符号が印刷されている繁体字中文用キーボードが安く手に入ります。日本語が打ちにくくなりますが。

情報発信の方では、やはり E-MAIL が重要です。しかし E-MAIL で中国語の手紙や情報を送ろうとすると、まだまだ色々な問題が発生します。

そのなかで、比較的多くの人が体験するのが、文字化けです。人から送られてきたメールが無意味な文字の羅列となって読めなかったり、人にメールを送ったら読めなかったと後で言われたり、という経験はありませんか。

このような文字化けの原因はいくつか考えられます。ひとつにはメールソフトの違いによるものがあります。たとえば相手の人が古いタイプの OS でメールを送受信していた場合（たとえば今でも WINDOWS3.1 でインターネットをやっている人を私は知っています）、そのメールソフトは、最近の HTML（またはリッチ・テキスト）という形式のメールを読み出すことができず、文字化けを起こします。この場合、TEXT 文書という形式でメールを送信するようにメールソフトの設定を変更しなければなりません。もし Outlook Express というソフトを使っているとしたら、作成画面上方の「ツール」から「オプション」→「送信」→「メールの送信形式」とたどって「TEXT 文書」を選択し、その後でメールを作成すれば、問題なく相手を読み出せます。ただしこれは日本語のメールの場合。

もし、中国語のメールであった場合には、文字コードが一致しているかどうか、が決め手になります。大陸に住んでいる中国人から送られてくるメールはほとんど GB コードと思われるから、「表示」→「言語」で簡体字中国語（GB2312）を選択すれば読み出す事ができるはずです。台湾か香港の人であれば、繁体字中国語（BIG5）を選択します。

このようなことも考えられます。相手が日本人で中国語関係にたずさわる人、かつ中国語の入力に通常 Chinese Writer を使っている人だったとします。その人から Chinese Writer で作成された中国語のメールが送られてきて、あなたも Chinese Writer を使っていたとします。その場合は、文字コードは日本語 Shift-JIS を選びます。ただし、その日本語 Shift-JIS の表示用フォントとして、Chinese Writer の GB 中国明朝または GB 中国ゴシックを設定しておきます。すると Chinese Writer で作成した中国語のメールが読み出せるのです。ただしこのメールは他のソフトウェアしか使っていない人には文字化けした状態でしか読み出せませんから、余り一般的な使い方はできないことになります。しかも日本語の文字コードの番地に Chinese Writer のフォントを割り当てるわけですから、日本語が読めなくなりますし、当然日中混在文のメールは、書くことも読み出すこともできません。

それでは日中混在文の送受信はどうしたらいいのでしょうか。それには、ユニコードフォントを利用します。

具体的には、例えば Outlook の作成画面で、まず「表示」→「言語」→「ユニバーサル

文字 (UTF-8)」を選択します。それからメールの本文のところに、日本語と中国語を入力します。日本語の入力には IME98 を使い、中国語の入力には Global IME を使います。文書が出来上がれば、そのまま送信します。読み出す側も、受信してから「表示」→「言語」→「ユニバーサル文字 (UTF-8)」の設定をすれば、ちゃんと日本語と中国語の混ざった文書が表示されるはずです。一度お試しください。

なおマイクロソフト社のマルチランゲージサポートをインストールして、中国語のブラウジングができる環境になっている場合には、特別にユニコードのフォントを入手してインストールするという手間は必要ない模様です。

日本ビジネス中国語学会

設立趣意書

明治以来終戦時に至るまでの間、わが国の外国語教育は、先進文化を吸収するための文化語学と、近隣諸国との軍事・通商に備えるための実用語学にはっきりと分れていました。従って文化語学はアカデミックな研究であり、実用語学は技術的訓練にしかすぎないと見られてきました。そういう潮流の中で、中国語学界のエリートたちは、中国語学を文化語学としてアカデミックな研究の対象にしようと、第2次大戦末期に力説されるようになりました。

第2次大戦後は、曲がりなりにも中国語学はアカデミズムの片隅にその位置を見つけ、大学の教員もアカデミックな研究によつて自分の業績を作るようになりました。しかし、一方で実用語学としての中国語学は軽視されるに到りました。外国語大学や社会科学系学部でも、商業経済や新聞雑誌に関する中国語研究は次第におろそかになり、そのため、この方面の研究に従事する人々は、共同に研究する基盤もなく業績を発表する媒体もないという有様であります。

言うまでもなく、日本のおかれている国際的地位は明治・大正と大いに異り、外国文化に関する見方も先進・落後という単純な区別はなくなり、わが国と中国との関係もまた文化から経済まで広くかつ深いものになっています。中国語の言語理論的研究はもちろんより一層発展させる必要があります。同時に中国語の実用的研究はそれ以上必要であると思われれます。

近畿在住の数人の研究者が時折顔を会わせて論議しているうちに、全国各地に散在しているそしてまた学界のみならず経済界で活躍しているこの方面の研究者を結集して、中国語の実用的研究——例えばビジネス中国語・通訳翻訳の研究等々を組織的、体系的に推進するために、ここに「日本ビジネス中国語学会」をつくろう、という議が持ちあがりました。

趣旨に賛同下さる方々のご参加を心から期待しています。

日本ビジネス中国語学会会則

第1条(名 称)

本会は日本ビジネス中国語学会と称する。

第2条(事務所)

本会は事務所を大阪市内に置く。

第3条(目 的)

本会はビジネス中国語に関する研究及び関係諸団体との交流を通じて、我が国における中国語学習者の語学能力の向上を図り、もって日本と中国の友好交流の発展に寄与することを目的とする。

第4条(事 業)

本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. ビジネス中国語、翻訳・通訳に関する研究。
2. 日中間の相互理解を深める為の教育・研修事業。
3. セミナー、講演会の開催。
4. 機関紙の発行。
5. ビジネス中国語検定。
6. その他前各号に関連する事業。

第5条(会 員)

本会の会員は次の通りとする。

- 個人会員 本会の目的に賛同して入会した個人。
法人会員 本会の目的に賛同して入会した法人。

第6条(入 会)

本会の会員になろうとする者は、別に定める入会申込書を提出し、承認を得なければならない。

第7条(退 会)

- ① 本会を退会しようとする時は、理由を付した退会届けを提出しなければならない。
- ② 会員は次の各号の一に該当するときは、退会したものとみなす。
 1. 会費を2年以上滞納したとき。
 2. 死亡したとき。
 3. 会員たる法人が解散したとき。

第8条(除 名)

会員が本会の名誉を傷つけ、又はこの会則に違反したときは、総会の決議により、除名することができる。

第9条(役 員)

① 本会に次の役員を置く。

- 会 長 1名 理事長 1名 理 事 10名以上15名以内 会計監事 2名
② 理事及び会計監事は、会員の中から総会において選任する。
③ 会長及び理事長は、理事の互選とする。
④ 法人会員の代表は役員の被選任資格を有する。

第10条(役員の職務)

- ① 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
- ② 理事長は、会長を補佐し、会務を処理する。会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- ③ 理事は、理事会を組織し、会務を執行する。
- ④ 会計監事は、経理を監査する。

第11条(役員の任期)

- ① 役員の任期は、2年とする。但し再任を妨げない。
- ② 補欠により就任した役員の任期は、前任者の残存期間とする。

第12条(役員の報酬)

- ① 役員は、原則として、無給とする。但し、常任の役員は、有給とすることができる。
- ② 常勤の役員の報酬は、理事会の決議により定める。

第13条(顧 問)

- ① 本会に顧問、相談役若干名を置くことができる。
- ② 顧問、相談役等は理事会の議決を得てこれを委嘱する。

第14条(総 会)

- ① 総会は、定時総会及び臨時総会とする。
- ② 総会は会員をもって構成し、この会則に規定するもののほか、次の事項を決議する。
 1. 事業計画及び収支予算。
 2. 事業報告及び収支決算。
 3. その他本会の運営に関する重要事項。

第15条(総会の召集)

- ① 総会は会長が召集する。
- ② 総会を召集するには、会議の議題並びに日時・場所を開催日の10日以前に通知しなければならない。

第16条（総会の開催）

- ①定時総会は、毎年1回会計年度終了後3ヶ月以内に開催する。
- ②臨時総会は、理事会が必要と認めたとき、又は会員の5分の1以上の請求があったときに開催する。
- ③総会の議長は、会長がこれにあたる。

第17条（総会の議事）

- ①会員はそれぞれの一個の議決権を有する。
- ②会員は他の会員に代理出席を委任することができる。
- ③総会の決議は、出席会員の過半数をもって行う。

第18条（理事会）

理事会は、理事をもって構成し、この会則に定められるべきもののほか、次の事項を処理する。

1. 総会における決議事項の執行。
2. 総会に付議すべき事項。
3. 資産の管理。

第19条（理事会の召集）

- ①理事会は年1回以上開催し、会長が召集する。
- ②議長は会長がこれに当たる。

第20条（理事会の決議）

- ①理事会の決議は出席理事の過半数をもって行う。
- ②理事は他の理事に代理出席を委任することができる。

第21条（資 金）

本会は下記の資金により運営する。

1. 会員並びに寄付金。
2. 事業収入及びその他の収入。

第22条（会計年度）

本会は会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

第23条（事務局）

- ①本会の事務を処理するために、事務局を置く。
- ②事務局は、理事長が統括する。
- ③事務局に常勤する職員は有給とすることができる。

第24条（会則の変更）

会則の変更は会員の3分の2以上の承認を要するものとする。

付則

1. 本会は1990年12月8日から発足する。
2. 本会の最初の役員は設立発起人がこれにあたる。

役 員 名 簿

（任期2001年の総会まで）

役 員	氏 名	所 属 先
会 長	伊 地 智 善 継	元大阪外国語大学学長
理 事 長	藤 本 恒	日中経済協会関西本部
会 計 監 事	待 場 裕 子	流通科学大学
理 事	安 念 一 郎	亜細亜大学
理 事	伊 井 健 一 郎	姫路獨協大学
理 事	今 里 慎	天理大学
理 事	大 河 内 康 憲	大阪外国語大学
理 事	上 林 紀 子	京都外国語大学
理 事	釜 屋 修	駒沢大学
理 事	興 水 優	
理 事	武 吉 次 朗	摂南大学
理 事	塚 本 慶 一	神田外語大学
理 事	戸 毛 敏 美	関西外国語大学
理 事	神 崎 多 実 子	サイマルアカデミー
理 事	橋 本 南 都 子	東海大学
事 務 局 長	岩 下 孝 彦	大阪中国語学院

日本ビジネス中国語学会
入会のご案内

趣旨に賛同される方はどなたでも入会出来ます。

入会ご希望の方は申込み用紙に会費を添えて、事務局までお申し込み下さい。

(設立趣旨・20頁、会則・21頁をご参照下さい)

入会費 1,000 円 (個人)
10,000 円 (法人)

会費 3,000 円 (個人)
20,000 円 (法人)

会費納付先 郵便為替00950-9-4857 日本ビジネス中国語学会

連絡先 〒530-0041 大阪市北区天神橋2-北2-26 マルサンビル4F
日中語学センター気付 日本ビジネス中国語学会
電話 06-6353-0671 FAX 06-6353-0664

-----キ リ ト リ セ ン-----

入会申込書

日本ビジネス中国語学会
会長 伊地智 善継 殿

貴会に入会致します

年 月 日

ふり 氏 名	-----	女 男	生年 月 日	年 月 日
ふり 住 所	〒			
電 話	— — — — —			
所 属				

会報 第9号

1999.9.20発行

日本ビジネス中国語学会

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北2番26号 マルサンビル4F

日中語学センター気付

TEL 06-6353-0671 FAX 06-6353-0664